

伏見たかしの議員報告

駅前配布版 40 号(通算 91 号) 平成 19 年 2 月



発行者: 伏見 隆 (枚方市議会議員) ホームページ: <http://www.tfushimi.net>

連絡先: 個人携帯 ☎ 090-5461-5987 メール: webmaster@tfushimi.net

市役所 〒573-8666 枚方市大垣内町 2 1 20 ☎ 841-1221(代)呼出

平成 17 年度決算については既に議員報告駅前配布版 37 号(H18/11)でご報告致しましたが、今回は枚方市の財政状況についてお知らせ致します。

(グラフ、一部文章等の出典:

枚方市発行「枚方市の財政事情平成 18 年度版」、グラフは一部加工しているものがあります。)

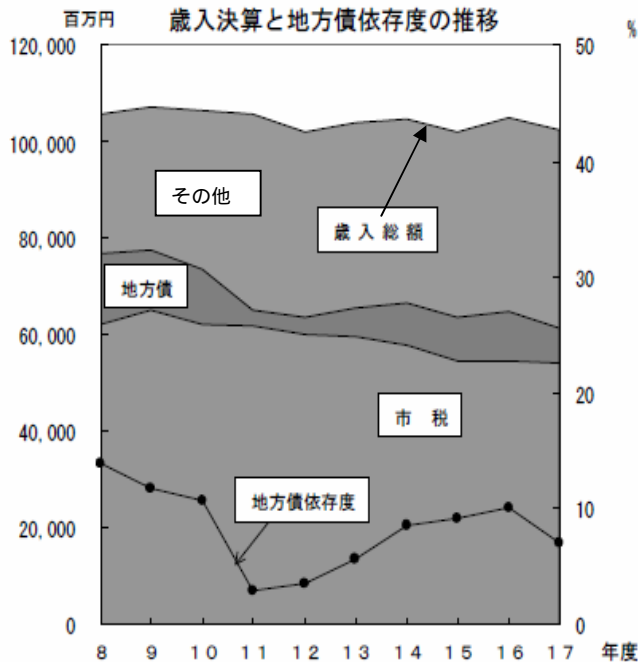
枚方市の H17 年度決算データ概要

一般会計収支: 6 億円の黒字

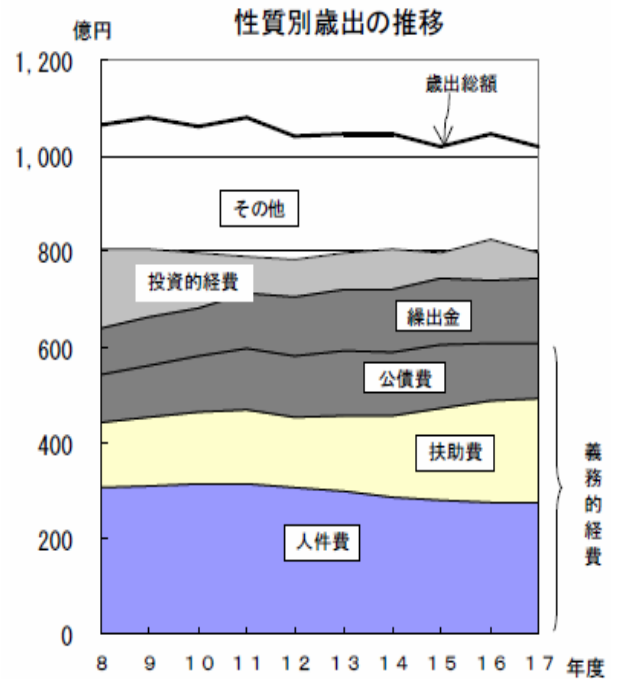
特別会計を含む全会計収支: 5 億円の赤字

借入金残高(全会計): 2037 億円

枚方市の収入内訳



枚方市の支出内訳



収入について:

市税収入は 17 年度で歳入総額の 53% を占め、平成 9 年度から 17 年度で 109 億円減少しています。

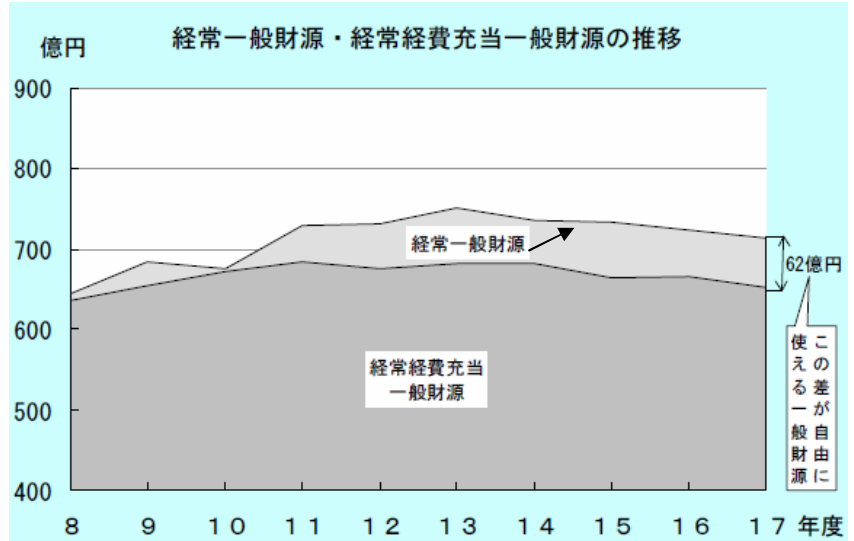
支出について:

扶助費は平成 8 年度から 17 年度で 82 億円増加。義務的経費の割合が歳出総額の 60%(17 年度)と財政が硬直化しています。

- 注)
- ・ 収入内訳の「地方債」の大部分と収入内訳の「その他」に含まれる府支出金、国庫支出金は対象事業が決まっており自由に使いません。自由に使えるお金は市税など限られています。
 - ・ 支出内訳の義務的経費とは市の行政活動を行う上で、義務的に発生する経費で人件費、扶助費(高齢者福祉や生活保護など社会保障制度に基づき支出する経費)、公債費(市が借り入れた借金(地方債)の元金及び利子の償還費)のこと。
 - ・ 歳出総額に占める義務的経費の割合が高くなると財政運営における裁量の余地が小さくなります。=「財政の硬直化」

それでは財政が硬直化していることを別のグラフでも見てみましょう。

枚方市の平成 17 年度決算では、市税収入など毎年の収入のうち使い道が特定されていないお金（経常一般財源）から人件費、扶助費、公債費などの毎年必ず支出しなければならない経費に充てるお金（経常経費充当一般財源）を引き去ると 62 億円しか残りません。



この 62 億円が枚方市が独自の事業を行うのに使えるお金です。62 億円が多いのか少ないのか。自治体によって予算の規模が違うので、経常経費充当一般財源の経常一般財源に対する割合（経常収支比率）で比較してみましょう（右の表）。この比率は一般的に 75%程度を保ち、残りの 25%をもって、投資的事業などの

平成 17 年度の全国 777 市の経常収支比率のランキング
（日経新聞 全国都市財政年報による）

順位	都市名	経常収支比率	順位	都市名	経常収支比率
1	刈谷市	58.5	613	寝屋川市	95.9
2	豊田市	64.7	711	交野市	98.9
3	裾野市	66.4	774	摂津市	110.0
244	茨木市	88.4	775	歌志内市	110.2
333	高槻市	89.9	776	嘉麻市	111.3
406	枚方市	91.2	777	夕張市	123.4

臨時的支出に備えることが適当と考えられています。枚方市の比率は昨年より改善しているものの 91.2%と財政は硬直化しています。

ちょっとひとこと

枚方市独自の事業（例えば市立小学校で 30 人学級を実現すべく教員を増やすなど）を行うには財源が必要ですが、現状では実現は困難です。実現するには人件費削減や事業の見直しなどをさらに進め「自由に使える一般財源」を新たに生み出す必要があります。

ふし 伏見 隆	み (枚方市議会議員)	たかし 38才	香里団地 D 地区在住
<所属政党> なし	<経歴> うみのほし幼稚園	高陵小	枚方一中
寝屋川高	京産大	極東貿易(株)	平成 15 年 5 月より現職

本議員報告書は毎月、枚方公園駅西口及び東口、枚方市駅北口及び南口、御殿山駅、香里園駅、大丸ピーコック(香里)、万代百貨店(香里)、計 8 箇所にて配布しております。